

(別紙)

1様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回美幌町総合計画審議会 第2部会
開 催 日 時	平成30年12月5日(水) 18時40分 開会 20時15分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 中ホール
出 席 者 氏 名	第2部会委員 田中委員、森委員、白石委員、真木委員 町 高崎民生部長、多田児童支援主幹、遠藤福祉主幹、但馬病院事務長 中村消防長、志賀本部次長
欠 席 者 氏 名	大江委員
事務局職員職氏名	金子政策担当
議 題	第6期美幌町総合計画基本計画(中期)素案について 基本目標2
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6期美幌町総合計画 基本計画(中期)素案 ・ 第6期美幌町総合計画(平成28年度～30年度)基本計画(前期)評価結果報告書 ・ 第6期美幌町総合計画 前期(平成28年度～平成30年度)評価結果 ・ 第6期美幌町総合計画 中期(平成31年度～平成34年度)施策及び事務事業
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
金子政策担当	<p>それでは、全体会議に引き続きまして、第2部会を開催いたします。 まず、美幌町附属機関に関する条例第9条第3項により、委員の互選により部会長を決めたいと思います。 なお、部会長には、職務代理者の指名も行っていただきますので、お含みおきください。 決めるにあたりまして、皆様のご意見をお伺いしたいのですが、ございますでしょうか。</p>
一同	なし。
金子政策担当	<p>特にご意見がなければ、事務局案をお示しさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
一同	はい。
金子政策担当	<p>それでは、部会長を田中委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
田中委員	はい。
金子政策担当	<p>よろしくお願ひいたします。 次に、部会長から職務代理者の指名をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
田中部会長	白石委員にお願いします。
金子政策担当	<p>それでは、部会長は田中委員、職務代理者は白石委員となりましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。 ここからの進行は、部会長にお願いいたします。 よろしくお願ひいたします。</p>
田中部会長	<p>はい。それでは早速審議に入りたいと思います。 各部長からの説明をお願いいたします。</p>
	<p><u>2-7 生活環境保全・緑化活動</u> <u>(8) 火葬場施設整備事業</u></p>
高崎民生部長	<p>民生部は2-1からになりますが、2-7に広域が担当するものが1項目ありますので、そちらから先に説明させていただきます。 基本計画（前期）評価結果報告書の21ページをご覧ください。 2-7生活環境保全・緑化活動の⑧火葬場施設整備事業について、説明する部分はありませんので、委員の皆さまからお聞きしたいことがありましたら、お受けしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
田中部会長	いきなり言われても何を聞いたら。
金子政策担当	そうですね。まず、美幌町総合計画の68ページに火葬場施設整備

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>事業というのがあります。そちらに載っているのが実際にやっている施策の内容になりまして、評価報告の中では特段指摘する事項や説明する事項はないということなんです、パッと見て浮かばないかもしれませんが、委員の皆さんの中でご質問とかあれば。</p>
田中部会長	<p>これ直すってことなんですか。</p>
中村消防長	<p>そうです。津別町活汲にある火葬場施設内に3基の火葬炉を持っています。1つの炉に対して300体を目途にしており、火葬炉内のセラミックレンガ等の塗替やボイラー・バーナーの取替など、定期的な改修を行っているところです。</p>
森委員	<p>1つの炉に対して300体ですか。</p>
中村消防長	<p>そうです。300体を目途に更新していくというように。</p>
田中部会長	<p>ずっとやっていくということですか。</p>
中村消防長	<p>はい。施設が使えなくなるまで。 平成6年にできましたので、約25年経ちます。</p>
真木委員	<p>ではこれからではなくて、ずっとやっているということですか。</p>
中村消防長	<p>はい。</p>
田中部会長	<p>それで、これに対して。</p>
金子政策担当	<p>今のような形でご質問等があればしていただければと。</p>
田中部会長	<p>それ以外に何か。</p>
金子政策担当	<p>特段なければ終了ということになります。</p>
田中部会長	<p>だってこれ、してもらうしかないですよ。</p>
中村消防長	<p>中期の計画の中でも、今後も計画的に更新していきたいと。</p>
田中部会長	<p>じゃあ火葬場についてはこれで終わりでもいいですか。</p>
一同	<p>はい。</p>
高崎民生部長	<p>それでは最初に戻りまして、前期評価結果報告書の15ページ、計画書の48ページをご覧ください。 2-1地域福祉機能の充実の項目について説明したいところですが。</p>
金子政策担当	<p>福祉主幹が他の部会に説明員として出ていますので、できることからやっていきます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>高崎民生部長</p> <p>多田児童支援主幹</p>	<p>2-4 子育て支援の充実</p> <p>それでは、前期評価結果報告書の18ページ、計画書の57ページをご覧ください。</p> <p>2-4子育て支援の充実について、前期結果、中期の考え方について、担当の児童支援主幹より説明をさせていただきます。</p> <p>多田と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>児童支援グループ所管の前期の評価結果になります。</p> <p>18ページ、施策2-4子育て支援の充実、評価の欄の①～④が児童支援グループとなっております。基本的に平均値が4.0を下回ったものはありませんが、達成度で「あまり達成されていない」という施策2点について、ご説明したいと思います。</p> <p>1つ目は、②子育てに関する相談・指導の充実になります。</p> <p>こちらの理由としましては、子育て支援センターで実施しております託児ボランティアを養成する「子育て支援人材養成事業」への参加者が少ないということから、託児ボランティアの養成が十分に出来なかったということで、あまり達成されていないと評価しているところです。</p> <p>もう1つは、③保育園の充実になります。</p> <p>こちらの理由としましては、公立保育園の整備計画の策定の遅れが挙げられます。公共施設等総合管理計画にも記載されておりますが、美幌保育園、東陽保育園の老朽化に伴い、近い将来この2園を合築するという検討をすることにしており、その計画策定の期限は定めていないところですが、特に東陽保育園の建物の耐用年数が迫ってきており、合築年度によっては、次年度策定予定の第2期子ども・子育て支援事業計画にも反映させなければならないということもありまして、早めの計画策定が必要な状況になっておりますが、この策定の遅れがあり、あまり達成されていないという評価をしております。</p> <p>続きまして、この評価結果を踏まえた中期の素案になります。</p> <p>素案の47ページをご覧ください。施策2-4子育て支援の充実になります。</p> <p>まず、施策の基本的な考え方ですが、仕事と子育ての両立ができ、安心して子どもを預けられるよう保育園・保育所における保育サービスの充実や保護者の負担軽減を図ること、子育て支援センターにおける相談体制の充実を図り、子育て情報の提供や子育てに関する相談・指導、託児ボランティアの養成に努めること、児童虐待防止のため、虐待の背景にある家族を取り巻く様々な問題を通じて、関係機関と連携を図り、虐待の早期発見・早期対応に努めること、放課後児童対策として、子どもが安全に過ごすことのできる場の充実に取り組むこととしております。</p> <p>48ページをご覧ください。</p> <p>中ほどに、子育て支援センターの利用者数がありますが、この数値の見直しをしております。前期実績、中期、後期と全て前期を下回る数値となっておりますが、人口減少に伴い利用者数も減少するという推計値としているところです。</p> <p>次に、施策になりますが、49ページの下の方に（4）学童保育の充実、①学童保育所の充実があり、朱書きのとおりに見直しをしているところです。この学童保育については、美幌町では現在小学3年生までを対象としておりますが、児童福祉法の改正に伴い、小学6年生までに学年が拡大されているため、現在の施設の中で学年の拡大を図ることとし</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>ております。</p> <p>最後に、46ページの1番上、②子ども発達支援センターの充実も児童支援グループの所管であり、これは前期と同様としているところです。以上がグループの説明になります。</p>
田中部会長	<p>それでは、どなたか質問はありますか。</p> <p>評価のところで、2番目が目標に対してあまり出来ていなかったということですが、これって何人育てようと思って何人来たんですか。</p>
多田児童支援主幹	<p>何人というのは特に定めてはいないんですが、1人でも多くということやっておりまして。実は毎年やっているんですが、29年度が募集をかけたんですが応募が0だったんです。その前の年度も3人登録してもらったんですが1名しか残ってなくて、現在は10人ほどしかいないんです。</p>
田中部会長	<p>実際どれくらいいたらいいかというのは。</p>
多田児童支援主幹	<p>出来れば現在の倍くらいの方がいいんですが、その行事がありまして、毎回皆さんが来てくれる訳ではないので、なるべく数多くとは考えております。</p>
高崎民生部長	<p>セミナーや研修会をやったときに、託児ボランティアで来てくれるその日に都合が合う人というのは限られますので、常に2～3人は来ていただきたいんですが、どうしても都合があって、10人とかそれなり的人数がいた方が調整が付きやすいというのがありまして、ボランティアの育成をしているんですが中々。皆さん働いていたりだとか色んなときあると思うんですが、こういう状況にあるということです。</p>
真木委員	<p>私見逃しているようなんですけど、これって広報とかで募集かけているんですよね。</p>
多田児童支援主幹	<p>そうです。広報とかホームページでかけています。</p>
真木委員	<p>1年中募集している訳ではなくて、時期。</p>
多田児童支援主幹	<p>講座を3回から4回やるんですが、それに全て出ていただいた方ということで、1～2月にかけてやっております。</p>
田中部会長	<p>それっていうのは、3回出なければならぬというのは決まっているんですか。</p>
多田児童支援主幹	<p>正直、何かに基づいてというのは特にないんです。ただやっぱりボランティアといえども託児なので、お子さんのことを理解してもらおうという意味では何回かやっていただいて、基本的なことを理解してもらいたいということですね。</p>
田中部会長	<p>ほか、どなたかこれに関して何かありますか。</p>
森委員	<p>この利用者数がね、赤に変わっていると思うんだけど、最初からこの</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	人数なの。
高崎民生部長	先程ご説明したんですが、子どもの数が相対的に減ってきているということで、黒字で想定したんですけど。
森委員	これは想定ですか。
高崎民生部長	はい。利用者が減ってきているということと実際の実績が出てきているので、それに基づいた数字に置き換えさせていただいたということです。
森委員	これはやっぱり原因は少子化なの。
多田児童支援主幹	少子化は大きな原因だと思います。
田中部会長	実際の子どもの人数から照らし合わせて計算しているの。
多田児童支援主幹	はい。ただ、30年度はまだ見込みなんです。
高崎民生部長	見込みなんですけど、ある程度見込みでの実績としています。
森委員	これを見るとすごいよね。1,000人も減って。
高崎民生部長	延べ件数なんですけどやはり減ってきています。
森委員	こんなに少子化が進んでいるんですか。
多田児童支援主幹	子どもの数、新生児数が減っていますので。
高崎民生部長	140人くらいいたのが現在はもう100人切るかどうか。この4～5年で40人、50人近く減ってきているのが現実なんですよ。
田中部会長	保育園って待機児童はいるんですか。
多田児童支援主幹	定義にあてはまる待機児童は、現在美幌町にはいません。ただ、潜在的というのがありまして、それは数名。
高崎民生部長	就職活動している最中で、まだ預けなくてもいいんだけどという。
田中部会長	これオホーツク管内ではどうなんですか。
多田児童支援主幹	データはないんですが、そんなには。
高崎民生部長	首都圏みたいな待機児童はいないです。
田中部会長	保育園はじゃあ建て直すということですか。
多田児童支援主幹	そうですね。やはり建物が両方ともかなり老朽化していますので。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高崎民生部長	あと0歳児が受け入れられない、施設的なものもありますので。本来0歳児から受け入れられる形で、少子化も進んでいて、一体的に1箇所で一預かりとかほかの機能も持って集中した方がいいかなという考えを持っていますので、そういう計画を立てたいと考えています。
田中部会長	1箇所にしたいということですか。
高崎民生部長	そうです。
森委員	1箇所でも間に合うんですか。
高崎民生部長	規模は大きくしなくてはいけないんですが、保育だけでなく一時預かりだとかほかの機能を含めて1つの所ですたいと考えています。
田中部会長	ほかは皆さん何かありますか。この件に関してはよろしいですか。
一同	はい。
	<p><u>2-3 障がい者福祉の充実</u> <u>(3) 障がい者福祉施設の整備</u></p>
多田児童支援主幹	<p>すみません、もう1つありまして、前期評価結果報告書の17ページをご覧ください。</p> <p>2-3障がい者福祉の充実の③障がい者福祉施設の整備で4事業ありまして、その内3事業が児童支援グループになっています。</p> <p>基本的に平均値は悪くないんですが、今後の方向性で「休止・廃止」が1となっていて、これは子ども発達支援センターの移改修事業のことを指しています。もともとコミュニティセンターの中にありました発達支援センターを、元の中央保育所を改修して移転したということです。29年度中に完了していますので、今後は休止・廃止とさせていただいております。</p>
田中部会長	これに関してもよろしいですか。
一同	はい。
田中部会長	それでは次の項目をお願いします。
	<p><u>2-1 地域福祉機能の充実</u></p>
高崎民生部長	はい。それでは、前期評価結果報告書の15ページからご説明させていただきます。
遠藤福祉主幹	<p>福祉主幹の遠藤と申します。</p> <p>それでは、評価結果報告書の15ページをご覧ください。</p> <p>2-1地域福祉機能の充実からご説明いたします。指標は、市民後見人養成者の数となっております。施策は3つで構成されております。評価については、8つの事業において全て平均値が4.0を超えておりますが、施策の①地域福祉活動の推進の達成において、「あまり達成されて</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>いない」が1つあります。こちらは、A3版の評価結果の15ページをご覧ください。真ん中あたりに施策に対する事務事業という項目があります。こちらの上から4つ目、ボランティアセンター充実支援事業があまり達成されていないという評価をさせていただいております。こちらは先程の評価結果報告書の下段黒枠にも記載しておりますが、理由としましては、少子高齢化に伴い、ボランティア人材の発掘あるいは養成・研修事業が遅れているためのものです。今後においても、意欲ある住民の皆さんが参加しやすい環境を整え、福祉活動を担う人材の発掘、育成の推進については、引き続き社会福祉協議会と連携して取り組んで参ります。</p> <p>続いて、素案の考え方になります。中期の素案37ページをご覧ください。こちら下の方に、基本的な考え方を載せておりますが、世の中の状況が今後も同じ様に続いていった場合には、ますます少子高齢化が加速するものと想定されています。このため、地域住民・関係団体・各事業者が一体となり、それぞれの役割の基で連携・協力し、安心して生活が送れるためにも、これまで取り組んできた支援は当然に必要なことです。引き続き、自助、互助、公助を連動させながら、公的福祉サービスの充実と共に福祉コミュニティの創出と助け合いの基盤づくりが重要となってきます。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>施策の内容となりますが、1箇所文言を削除いたします。(1)地域福祉活動の推進の③、「ボランティアセンター職員の人件費補助」ですが、②社会福祉協議会の活動充実と支援の中に「人件費補助」という表現があります。これまでもボランティアセンターの職員は社協の職員になりますので、人件費については社会福祉協議会補助金に含めていることから、人件費の文言はこちらに包含させていただくということで、削除させていただきます。</p> <p>このほかの施策については、変更はありません。</p> <p>中期計画においては、前期同様に3つの施策と8つの事務事業にて計画をさせていただきます。</p>
田中部会長	<p>それでは何かこれに関して質問はありますか。</p> <p>先程と同じように、結局はボランティアとなる人材が不足しているという問題が、今回も同じような問題ということですよ。</p> <p>この自助・互助・公助は、地域包括ケアシステムでも出てくる。あれには共助も入っているんだけど、こっちは共助は入らないの。</p>
遠藤福祉主幹	<p>入ってもいいかもしれませんが。</p>
田中部会長	<p>福祉の場合は入らないのかなと単純な疑問です。</p>
森委員	<p>福祉の場合は3つだよ。</p>
遠藤福祉主幹	<p>たぶん3つであってたような気がします。当時もそのようにして作ってましたので。</p>
田中部会長	<p>そうでしたか。わかりました。</p> <p>ほかはどなたかありますか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森委員	仕方ないところはあるんだよね、年代とか。ボランティアを見ていても70代以上の方が多いですよね。
田中部会長	そうですね。ネットワーク会議でも、ボランティアに出て来る人たちが少なくなっているのは話題になっていて、これはやっぱり今後も課題になりますよね。
高崎民生部長	高齢化というか、年金受給開始も上がったということで、昔は60歳くらいからボランティアをやってくれていた人が、現在は働かないといけないので、こういう影響もあると思うんですけども。
森委員	どこ見ても60代の人はいないんでしょうね。70代以上が多いですよ。
白石委員	今現在ボランティアしてくださっている方は、本当に無償で動いてくださっていると思うけれども、だんだん時代が変わってくると、まるっきり0ではなくなるんじゃないかなという気がするんですよ。何かの方法でまるっきり0ではなく、現金でなくてもポイントを貯めるとか。
田中部会長	ボランティアでなくなっちゃうかもしれないけど。そうすると。
高崎民生部長	どうしてもいなくなっている所は、そういう色々な方策を使って担い手を確保しているんですが、美幌町は今まだ協力的な方がいらっしゃってなんとかやりくりできているんですけど、今後人材不足になってきたら、ボランティアの確保という意味でポイント制とか導入している市町村もありますので、そういうのを研究しながら確保を図っていかなければならないとは思っていますけれども。
田中部会長	そうですね。そういう方法も考えた方がよくなるでしょうね。
森委員	難しい。
高崎民生部長	非常に難しい問題なんですよ。本来の意味のボランティアから少しずれてしまう部分もありますが、かと言って何もせず今のままで人材がいなくなってしまうというのも困りますので、いかにして育てていくか。中学生・高校生のボランティアとどこかで親しんでいただいて、大人になってから手伝ってもらうとか、最初から重たく考えてもらうとなかなか難しい部分がありますので、自分の出来ることだけをさせていただくという部分から入っていただくとか、いろんな方策を検討しなければならないという状況にはあるということです。
森委員	白石さんの所でお手伝いしている方は、やっぱりお年の方ですか。
白石委員	段々そうですね。10年前は若かった人が10年経つとね。
森委員	若い人は入って来ないですか。
白石委員	なかなか入って来ないですね。こういう活動じゃなくて、趣味の活動でも若い人はなかなか。忙しいんですかね。働く方が先なのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森委員	この間ちらっと聞いたけど、趣味に入って来ても、最初見学だけしてなかなか入ってくれないと。
白石委員	興味があってもなかなかね。
森委員	ボランティアを増やすというのは大きな問題ですね。
田中部会長	それでは次の項目をお願いします。
	<p style="text-align: center;">2-2 高齢者福祉の充実</p>
高崎民生部長	それでは、評価結果報告書の16ページ、2-2 高齢者福祉の充実についてご説明いたします。
遠藤福祉主幹	<p>施策は7つで構成されております。達成度においては、25事業のほとんどが「かなり達成」または「ある程度達成」となっておりますが、⑤高齢者福祉施設の整備について「あまり達成されていない」が1つあります。A3版の評価結果17ページ、真ん中あたりの施策に対する事務事業の上から3つ目、小規模多機能居宅等介護拠点事業が該当します。通いを中心とした宿泊やヘルパー事業といった多機能な施設で、非常に使い勝手の良いサービス事業となっております。オホーツク管内においても、小規模多機能の施設を数多く手掛ける事業所に対し、美幌町への進出の可能性を探るため、聴き取り調査を行うなどの取り組みも行ってはいますが、どの分野も人手不足が生じています。とりわけ介護保険分野は、利用者が増え続ける中で対応する側が慢性的な人手不足に陥っており、需要と供給のバランスが上手く噛み合っておりません。つまり、施設のハード面がクリア出来ても、従事者のソフト面が追いつかないというミスマッチが続いており、特に地方の事業所においては、施設整備の見直しを踏んでいるという状況というの聞き及んでいるところです。仮に設置した場合、大きな負担にはならないかもしれませんが、後々皆さんから頂きます介護保険料にも跳ね返ってくるという仕組みになっておりますので、整備に関しては慎重に判断した中で取り組んでいくということになります。私共としては、施設整備に関して第7期介護保険事業計画を進めておりますが、時期の計画となります平成33年度の前後を目途に整備に向けて動きたいと考えておりますので、今後とも事業所進出の可能性を探るために情報というアンテナを高くして取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>このほかの施策についても、平均点が3点台であり、どちらかと言えば控えめな評価となっておりますが、ほとんどが「ある程度達成」となっております。高齢者が住み続け、ニーズなどが多種多様化している状況にありますので、様々な取り組みを展開しております。決して何もしていないという訳ではありませんので、ご理解をいただきたいと思ます。</p> <p>続いて、素案の考え方になります。中期素案の40ページをご覧ください。</p> <p>高齢者の一人一人が将来にわたって切れ目なく適切にサービスが行きわたる仕組みづくりが必要となります。特に、高齢者の中でも多数を占める比較的元気な高齢者ができる限り健康を保持しながら、社会との関</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田中部会長	<p>わりを持ち続けられるように、介護予防事業の充実をはじめ各種事業の推進を図って参りたいと考えております。</p> <p>また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、住まい・医療・介護予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムを美幌町の实情に応じて構築するために取り組んで参ります。</p> <p>1つ、施策の内容で統合するものがありますので、42ページをご覧ください。(6) 高齢者の社会参加、生きがい活動の促進の中の4つ目が削除されておりますが、こちらは町長マニフェストになりますので、高齢世代の居場所、出番の創出については、1つ上の③社会活動参加の促進に包含されるということで、統合させていただきたいと思っております。</p> <p>中期計画においても、7つの施策と25の事務事業で計画させていただきたいと思っております。以上です。</p> <p>これについて何かありますか。</p> <p>小規模多機能の居宅って話がでましたが、これは津別にありますが非常に良いんですね。どういうことかと言うと、デイサービスをして、天候が悪かったらそのままショートステイ出来ると。ただ、やっぱり認知度が足りないから美幌でまだ普及していないというものかなということ、今度介護と医療の勉強会で津別の小規模多機能の方に来てもらって、その施設の説明をしてもらおうつもりでいて、そういうところでかなり認知度が高くなってきたときに、事業所なりがもう少し興味を持ってもらって、1つだけでは美幌の場合は足りないかなと。</p>
遠藤福祉主幹	<p>1つでは足りないと思いますが、あまり増やしすぎると介護保険料に跳ね返ってくるので、なかなか難しいところなんですけどね。</p>
田中部会長	<p>利用者はいると思うんですけど、この辺で上手く導入できればいいんですけど。網走にありましたっけ。</p>
遠藤福祉主幹	<p>あります。北見にもあります。</p>
森委員	<p>一時恵和会がね。</p>
遠藤福祉主幹	<p>その通りです。ただ、働く人がいないからと。人手不足が原因ですね。</p>
森委員	<p>でもこれ本当に必要だよな。</p>
田中部会長	<p>はい。本当にいいものですよな。出来ればいいかなと思っております。</p>
森委員	<p>先生がおっしゃるようにデイケアも含めてですもんね。</p>
遠藤福祉主幹	<p>本当にマルチな施設です。</p>
田中部会長	<p>認知度が高くなれば少しは違うかなと。 ほか、どなたか質問はありますか。 よろしいですか、皆さん。</p>
真木委員	<p>すみません、1つ。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>主人の母親も去年北見で施設にお世話になったんですが、その時に全くの素人だったので、どこに相談すればよいかとか地域包括支援センターって広報では見るけれど何だろうと正直なっていて、関わってこないと見ないじゃないですか。それが1年通じて皆がそれぞれなと思うので、経験した中ではいつも広報に載せてると思うんですが、もう少し詳しくとか、私ここに掛けていいのかなと思っちゃったんです。こういう人が掛けてというのをわかってくれるともっといっぱい利用してくれる人がいるかなと。</p>
田中部会長	<p>だから僕は津別でも言ったんですが、困ったら地域包括支援センターに。</p>
真木委員	<p>それがわからなかったんですね。</p>
田中部会長	<p>地域包括支援センターの方に連絡してもらうのが一番いいことですよ。その人が要支援だとか要介護だとかがわからなくても、まず最初に相談してもらうのはそこでいいかなと。そこで、施設が必要な場合とかだったら、センターの方で振り分けて色々な所の行き先を教えてください。</p>
森委員	<p>もう少しやさしい名前だったらいいのにね。</p>
遠藤福祉主幹	<p>真木さんが仰るとおり認知がされていない、若い人はきっと知らないと思いますので、1年くらい前に「ほうほう」というキャラクターを作って、まだまだ認知度が低いので頑張っているんですが、まだ足りないということであれば。</p>
真木委員	<p>たぶん使いたいと思った人が探したときに見つけやすければ。普通の人はきっと気付かないままでいくのは仕方ないと思うんですよ。使いたいと思った時にこれを見たらというのがあれば。</p>
田中部会長	<p>一番問題になるのが、介護保険が必要な人が利用できていないところがまだ多いから、それを導入する時の入り口を作ってあげることが大事なんですよ。</p>
真木委員	<p>結構あっちこっち、ここだと思って行って1回説明した挙句、ここじゃないですと言われてたりもしたので。</p>
田中部会長	<p>ここじゃないと言われたとしたら、その時にどこに行ってくださいということをちゃんと覚えてもらえるのがやっぱり一番親切ですよ。</p>
真木委員	<p>私的なことなんですけど、普通の施設に入って、その後特養に入る時に、結局自分で動かないとダメですよという感じで、私たちからしたら投げられちゃって。北見市なんですけど。</p>
田中部会長	<p>美幌の一番の問題は、施設の待機している人の数が異常に多いと。だから、美幌で入れなくて北見に行ったりする人が多いので、それが一番の大きな問題かなと。グループホームも含めて。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森委員	相談の件で言えば、美幌はしゃきつとが非常に良くて、すぐ目の前に包括があるから。
高崎民生部長	包括がわからなくても、役場の福祉の所へ来たたらすぐに案内できますしね。
田中部会長	あれは本当にいいですよ。
遠藤福祉主幹	社協もありますし、上手くトライアングルで。
森委員	新庁舎になっても一緒になるからね。 ただ、施設がないのが悲しいね。
高崎民生部長	施設は難しいですよ。先程言いましたように人がいないのと、ピークを過ぎてしまい利用者がいなくなってしまうと経営ができないというのがあるので、ここ何年かを乗り切ればと。
田中部会長	あとはよろしいですか。
一同	はい。
	<p style="text-align: center;">2-3 障がい者福祉の充実</p>
高崎民生部長	それでは、前期評価報告書の17ページ、2-3障がい者福祉の充実に移らせていただきます。
遠藤福祉主幹	<p>施策は5つで構成されます。評価の達成度においては、17の事業数があり、その9割が達成しておりますが、平均値3.0である④障がい者の社会参加、生きがい活動の促進についてご説明いたします。A3版の評価結果の20ページになります。真ん中あたりの施策に対する事務事業の1番上、障がい者就労支援事業が該当します。本町においては、雇用契約を結ぶ就労継続支援A型事業所が1事業所2箇所、B型事業所が2事業所3箇所、一般就労が2事業所2箇所で行われております。こちらで訓練されている方が一般企業への就職あるいは訓練を重ねた就労の場の確保の拡大のため、これまでも商工会議所をはじめとして、関係機関との連携により地域全体で雇用の場の確保に努めている状況です。一般就労を展開していくためには、雇用側となる事業所の深い理解と協力が何よりも不可欠です。引き続き、啓発を含めた就労の場の確保について取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>続いて、評価結果報告書の17ページ、⑤権利擁護事業の促進です。2事業の内、1つが「あまり達成されていない」、平均値2.5となっております。A3版の評価結果20ページに戻りますが、先程の項目の上から3つ目、障がい者虐待防止事業が該当します。虐待には種類があり、皆さんがよく耳にされるのは身体的虐待だと思います。このほかにも、性的虐待、心理的虐待、放置・放任虐待、経済的虐待があります。虐待はなかなか表に出にくいあるいは出づらい、受けている側もサインを出しづらいといった様々な要因があります。また、虐待は特にエスカレートする傾向があるとも言われており、ケースによっては生命の危機に及ぶということもニュース等でご承知かと思っております。平成24年10月に</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>障がい者虐待防止法というのが施行されております。まだまだ広く皆さんには認知されていないのが実態であり、反省を致しているところです。引き続き、障がい者の皆さんが自立して生活が送れるように、町民の皆さんや事業所への周知、啓蒙・啓発活動をはじめとし、更なる理解が深められるよう事業推進を図って参りたいと考えております。</p> <p>素案の考え方ですが、中期素案の45ページになります。</p> <p>施策の多くは、障がい者総合支援法という法律に基づいて取り進めております。また、町で進めております第2期美幌町障がい者計画の基本理念「誰もが安心して暮らせる人にやさしいまち」の実現に向けて、地域全体で障がい者と共に生きる社会を構築するための取り組みを行って参ります。</p> <p>施策の内容を3箇所ほど変更しております。</p> <p>まず、施策の1つ目、障がい者福祉の推進体制の充実について、朱書きされていますが、これまでは「障がい児」については「障がい者」に含まれておりましたが、児童福祉法の改正により障がい児福祉計画を定めなさいとなりましたことから、追加するものです。</p> <p>次に、右斜め下の欄に「地域生活支援拠点の整備について検討を進めます」という文言を追加いたしました。国では、障がい者の重度化、高齢化、親亡き後の備え、施設入所から地域移行へ進める考えを持っており、そのためには重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において障がい者やその家族の緊急事態に対応を図るものとしています。原則、相談、緊急時の受入対応、体験の機会を作る、専門的人材の確保、地域の体制づくりという5つの機能全てを備えなさいとされておりますが、相談について、基幹相談支援センターという24時間年中無休の施設を作りなさいとされていて、これが大きな壁となっております。北海道では当面21圏域、オホーツク管内で言えば北網と遠紋に1箇所ずつ作ることを考えておりますが、なかなか先に進んでいないという状況です。地方においては、取扱件数も都市と比べて少ないことから、拠点施設は単独運営ではなく、広域が望ましいと道も言っております。引き続き、オホーツク総合振興局、近隣市町村と連携を取りながら情報収集に努めて参りたいと考えております。</p> <p>3つ目は、46ページをご覧ください。(5)権利擁護事業の促進の①に「差別の解消」を追加しました。平成28年4月1日に施行されております障がい者差別解消法に基づく変更です。</p> <p>以上が変更箇所となりますが、このほかに統合するものがあります。町長マニフェストである(4)障がい者の社会参加、生きがい活動の促進の障がい者への働く場の支援を①就労機会の確保に統合させていただきたいと思っております。</p> <p>これらを踏まえまして、中期素案においても5つの施策と17の事務事業を計画しているところです。</p>
田中部会長	さっきの24時間の相談窓口というのは、具体的な話というのは。自治体同士の。
遠藤福祉主幹	情報交換ぐらいはしています。ただ、どこも。
田中部会長	道内だとどこかにあるんですか。
遠藤福祉主幹	あります。広域でやっていて、富良野地区、上川地区など、4～6く

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	らいの市町村でやっています。
田中部会長	北網だったらやっぱり北見ですか。
遠藤福祉主幹	北見ですね。遠紋だと、遠軽か紋別を北海道は考えていると思います。ただ、北見市は単独では持っているんですが。
田中部会長	ほかの地域は入れたくないという感じですか。
遠藤福祉主幹	こちらはお願いしたいんですが、まだやり始めたばかりなので少し様子を見たいということでして。何せ24時間年中無休ということなので。
田中部会長	それって保健所は関係ないのですか。
遠藤福祉主幹	どちらかと言えば振興局ですね。
森委員	どこかに委託しているの。
遠藤福祉主幹	はい。委託しているのは確かなんですが詳しくは。
田中部会長	話し合いとかしなければ、話は進まないですよ。
遠藤福祉主幹	そうですね。予測ですけど、先程地域包括ケアシステムと言いましたが、障がい者にもそれを言ってきていて、みんな同じ考え方になっているんですね。
田中部会長	ほか、よろしいですか。
一同	はい。
	<p style="text-align: center;">2-5 保健予防対策の推進</p> <p style="text-align: center;"><u>(4) 介護予防マネジメント体制の確立</u></p>
遠藤福祉主幹	<p>あともう1つ、評価結果報告書19ページ、2-5保健予防対策の推進の④介護予防マネジメント体制の確立について、所管となりますのでご説明いたします。</p> <p>平均値が3.0、評価の達成度については「ある程度達成」となっております。この施策は、町が恵和会に委託しております地域包括支援センターの業務に係るものです。介護認定者の増加に伴い、当然業務量も増えている状況にあることから、これまでも適宜職員を増やした中で、対応を図ってきているところです。</p> <p>中期素案の53ページをご覧ください。下の方にある※の4つ目、介護予防マネジメント体制について説明が書いてあります。要支援者に対し、本人・ご家族との話し合いをもとに、現状の生活行為に関する評価・分析を行い、本人がどんな生活を送りたいかということのをあらゆる角度からその支援方法などを考える体制のことです。町内には、引きこもりで面会をしてもらえない、私は大丈夫だと言って介護サービスに結び付いていない方が存在していると思っております。つまり、適切な医療や介護サービスに結び付いていないといった困難ケースというものが、ま</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>すまず増えていくというのを危惧しているところです。このため、地域包括支援センターをもっと認知していただいて、職員も一生懸命やっております。毎月の事例検討会や各種研修会など、スキルアップを日々図っております。介護マネジメント体制の確立を強固なものにするために取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。</p>
田中部会長	<p>要支援者に対して、本人・家族との話し合いをする人は誰ですか。</p>
遠藤福祉主幹	<p>基本的には包括の職員です。行った所で困難になってきた場合は、私共が入っていきます。</p>
森委員	<p>包括で掴みきれないのもあるでしょ。</p>
遠藤福祉主幹	<p>あります。</p>
森委員	<p>年々単身者が増えていっているしね。</p>
遠藤福祉主幹	<p>本当は介護保険を使ってほしいんだけど、頑固な人だとか。</p>
森委員	<p>大丈夫よと言う人とかね。</p>
遠藤福祉主幹	<p>特に認知症の方ですね。初期集中支援チームというのを作っていて、実は中度くらいまで認知が進んでいるのに、全く自分は知らないという人達をいかに繋げていこうとするものなんです。初期段階の初期ではなくて、中度くらいまで認知度が進んでいる人へのファーストタッチという意味での初期集中支援という言い方をしています。</p>
田中部会長	<p>一般の周知で頑固だと思われる人が、認知症が強い人が多い。ごみ屋敷になっている人というのはそういう類が多いんですよね。</p>
森委員	<p>よくたすけあいチームでも言われるんだけど、訪ねていっても一切受け付けられないんだってね。</p>
田中部会長	<p>なかなか話も聞いてもらえない。その辺を拾い上げると。</p>
高崎民生部長	<p>まず情報をもらって、行政だけでなく包括などいろいろ含めて一からですね。</p>
森委員	<p>たすけあいの方はその方がいいですよ。そういう人達は包括が行ってもそうなんですよ。</p>
遠藤福祉主幹	<p>そうですね。そういう場合は、いろいろ切り口を変えて、例えば自治会にお願いしたり、民生委員にお願いしたりしますが頑固で。ただ、放っとく訳にはいきませんので。</p>
高崎民生部長	<p>何かきっかけがあれば入っていくという。</p>
森委員	<p>うちの自治会にもそのケースがあります。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田中部会長	最悪、警察が入ってくれることもありますよね。救急隊とかが急に入っていて、入れなかったら警察が対応してくれると。そういう風にいるんな人達が見守るのがいい。
白石委員	役場の人達はお宅へ行ったら中まで入るんですか。
遠藤福祉主幹	入らせてもらいますね。部屋の状況とかも見たいので。汚くなっているとか、汚物が転がっているだとか。
白石委員	包括の人も入れるんですか。
遠藤福祉主幹	職員と一緒に包括も入ります。
白石委員	なかなか玄関先だけであしらわれると困るなど。
遠藤福祉主幹	何回も行きます。電話してみたりとか。健康診断を受けているかもしれないだとか、あらゆる情報を掴んできっかけを作っていく。しつこくやって上手く結びついたというのがありますけど、やっぱり大変ですね。
森委員	ごみ屋敷みたいな所もあるんですか。
遠藤福祉主幹	あります。民生委員やケアマネからもそういう情報が入ってくるんですよね。近所の方からも電気がついたままだとか、テレビの音量が大きいだとか。こういう状況だと認知度が進んでいる場合が多い。上手く介入していくのが難しいですので、スキルアップを図っているところです。ますますこういう事例は増えてくると思いますので。
森委員	単身世帯も増えてきていますからね。
田中部会長	それでは、次の項目をお願いします。 2-6 地域医療体制の充実
高崎民生部長	それでは、先に国保病院の部分について、病院事務長から説明させていただきます。
但馬病院事務長	この総合計画は、平成26～27年にかけて作成しており、その当時現状と課題として整理したものを今回中期に見直していくという作業をしております。 中期素案の56ページ、上から3つ目の表になりますが、この計画の指標ということで、計画策定時は医師の数が15人、診療科が10科という想定をしておりました。前期実績の中では、平成30年度時点で医師の数が10人、診療科が12科となっており、それ以降中期・後期については、予定で12人、12科ということで計画を見直しております。 施策ですが、(1)病院の充実については、①固定医師の確保、②新たな診療科の検討、③施設・設備や医療機器の充実、④医療従事者等の育成確保、⑤新たな収支改善対策の推進、⑥病床機能の見直し検討。(2)保健・医療・介護・福祉との連携強化という区分では、①地域包括ケアの推進、(3)広域医療体制の充実という区分では、①病診・病病連携強

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>化、(4) 救急医療体制の充実という区分では、①国保病院における救急医療体制の充実ということで、大きな柱4つにぶら下がるそれぞれの施策を計画しておりました。</p> <p>前期評価結果報告書の20ページ、前期を終えての評価ですが、全般的に概ね達成できているという自己評価をしております。ただ、①国民健康保険病院の充実の内、病床機能の見直し検討事業について、進捗が浅く、当初療養病床や病診連携の中でベッドを使っていたことを考えておりましたが、現在の国保病院は急性期医療を担うという位置付けで進んできているため、療養病床よりも急性期病床のままで、より地域包括ケアに向かえるような病床として、地域包括ケア病床へ一部転換して利用率を高めるということを進めたいという計画に見直しております。なかなか診療所の先生型に病床を使っていたくもは難しいので、それよりは紹介ということでベッドを使っていたということなので、現在の病床機能を急性期ではなく、より慢性期に近い患者でも利用できる地域包括ケア病床に一部分だけ機能を見直し、利用勝手の良い病床へ方向転換しております。その病床を入れるための体制づくりやリハビリを行うスタッフの充実など、さまざまな基準を満たすよう一歩ずつ取り進めているところです。こういう状況から病床機能の見直しについては進捗が浅いということで、低い自己評価としております。体制を整えば、地域包括ケアの中の有効な病床として使ってもらえるような機能を持っていきたいと考えております。</p> <p>その他の項目については、当初の計画よりも進んでおります。医師の確保、診療科についても、一歩二歩先に行っている形で、充実してきていると捉えております。前期としては、ほぼ達成できているという評価をさせていただきます。</p> <p>中期素案の55ページに戻っていただき、個別に内容を見直している部分についてご説明いたします。</p> <p>56ページ、①固定医師の確保ですが、当初病院としては、眼科医師の常勤化、産婦人科医師の確保、麻酔科医師の招聘を計画しておりましたが、産婦人科医師については平成30年4月から来ていただいておりますので、この施策の中からは削除しております。</p> <p>②については、項目を「診療科の充実と、新たな診療科の検討」に見直しさせていただいた上で、「産婦人科、呼吸器内科、精神科など新たな診療科の開設を検討する」という当初の計画について、呼吸器内科、婦人科診療を開始していることから、今ある診療科の充実を進めたいという内容に変更しております。</p> <p>③施設・設備や医療機器の充実についても、新たな診療科の開設に伴い必要な医療機器等を整えていきたいとしておりましたが、新たな診療科の開設と共に医療機器も整備しておりますので、中期以降は今の診療科の充実のために必要な高度医療機器の導入を進めていきたいと思っております。</p> <p>⑤新たな収支改善対策の推進について、策定当時は国から自治体病院の経営改善プランを必ず作成するよう指示されており、平成29年5月に美幌町公立病院改革プランの作成を終えたため、作成から実施に文言を修正しております。</p> <p>⑥病床機能の見直し検討については、前期では病診連携や療養病床への転換を計画しておりましたが、地域包括ケア病床ということで進めるための文言を修正しております。</p> <p>(2) 保健・医療・介護・福祉との連携強化、①地域包括ケアの推進</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>について、当初高齢者を自宅で支援するシステムとして在宅医療を推進するということに向けて、病院の中に在宅療養支援病院としての施設基準を取得したり、居宅介護支援事業所を設置したりと、退院後のケアプランや在宅医療に向けた取り組みを進めよう計画しておりましたが、町内のさまざまな関連する状況等を踏まえると、地域の介護事業所の取り組みを優先させることとし、ただ、必要があればやっていかなければいけないことではありますので、こちらは検討を図るという文言へ修正しております。</p> <p>残りの項目等については、不要な部分は削除し、全体としては変更がないとしております。</p> <p>冒頭申し上げましたとおり、総合計画の期間は11年間で、当初計画した医師の確保ははじめ診療科の見直しもかなり進み、前倒しで出来ている状況ですので、全体としては現在の体制を充実させていくという計画に内容を変更しております。</p>
田中部会長	ご質問がある方はいらっしゃいますか。
真木委員	オープンベッドって町外の病院からでも受け入れ可能なんですか。
但馬病院事務長	当初オープンベッドというのは、町内にいらっしゃる診療所の先生が国保病院に来て病床を利用していただくというのを想定していたのですが、現在は紹介状をいただいて患者様に転院していただくというシステムになっておりますので、町外の方もご紹介をいただければ受入れは可能です。
田中部会長	オープンベッドの話は昔から医師会でもしていて、責任の所在がなかなか難しいと言われていて、誰が主治医なのかということ。現在は、連携が以前よりもスムーズに診られるようになっているので、それをするかを考えると、オープンベッドである必要はないのかもしれない。僕の所は、在宅をやっていて後方支援ベッドというのがあって、在宅の人が急に悪くなったら、ベッドが空いていれば全員国保病院へ入れるようになっている。そういうことで連携をとってやっているの、こういうように連携を細かく取っていった方が、オープンベッドよりはやり方としてはいいかなと考えています。連携を強化するということが一番いいんじゃないかな。
白石委員	国保病院にはリハビリを専門にしてくれる先生がいるんですか。
但馬病院事務長	担当の先生ではなく、理学療法士という運動機能を回復させるための専門の技師がいて、リハビリの中でも運動、作業、言葉という分野に分かれておりますが、現在国保病院には運動系のみ技師がおります。来年の4月に作業系の技師を1人採用する予定で、より自宅に戻ってからの作業がリハビリテーション出来るような体制に持っていくことで、地域包括ケア病床という病床で受け入れて、リハビリを十分に行っていただき、自宅に戻ってもらうという機能をというところなんです。
田中部会長	病院は、病院ごとでどのような性格を持つかというのが決められるんですよね。日赤のように超急性期をやっている所だとか、急性期、慢性期、回復期だとか。国保病院は急性期にあたるので、慢性期のリハビリ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
白石委員	<p>だとかはどちらかと言うと、慢性期の性格を持つ病院の方が充実することが多いんですが、先程言った包括ケアとかでの枠では充実できるようになってくるんですよ。</p> <p>大きな病院で大抵のことが出来て、あとはリハビリだよという時には、近くに帰って来てくれると家族は助かるからお聞きしました。</p>
但馬病院事務長	<p>そうですね。国保病院では、救急で受入れて、症状によっては大きな病院へご紹介する場合がありますが、紹介した後は必ず戻って来ていただける連携は図っております。</p>
田中部会長	<p>さっき言った連携の中で全部出来るから、救急で入らなくて町外の病院に入った後に、リハビリで紹介されるということもある。だから、最初に縁が無くても、連携を強化すれば受入れは可能になる。</p>
白石委員	<p>わかりました。</p>
田中部会長	<p>救急医療体制ということで言うと、網走や北見の医師会では救急医療がすごく大変で、美幌は国保病院が核となってやってもらっているの、休日や夜間など非常に救急体制は良い方だと思います。それはやっぱり国保病院にやってもらっているおかげだなと。</p> <p>あと、具体的に2人医師を増やしたいというのは、麻酔科と眼科ということでもいいんですよ。</p>
但馬病院事務長	<p>そういうことです。</p>
森委員	<p>眼科は常勤ですか。</p>
但馬病院事務長	<p>眼科は常勤になると、目の手術が出来るので、病院にとっても地域にとってもかなり効果的です。現在は旭川行ったりと。経営的にもかなり潤うことにはなります。なかなか眼科医がいないものですから。</p>
田中部会長	<p>ほかはよろしいですか。</p>
森委員	<p>高度医療の機器導入というのはだいぶお金かかるんですか。</p>
但馬病院事務長	<p>だいぶお金は使いました。</p>
田中部会長	<p>でもだいたい機器は揃いましたよね。</p>
但馬病院事務長	<p>はい。だいたい揃いました。あとは、診療科の充実するための細かい機器ぐらいしかないかなと。</p>
田中部会長	<p>そういう医療機器もみんなが使えるようになっているので、連携を通して機械を使わせてもらって、データで受け渡しもできますので、昔よりはそういう連携ができるようになっていますね。</p>
高崎民生部長	<p>本日本日予定しておりました分につきましては、これで説明を終了させていただきます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田中部会長	<p>次回につきましては、保険と環境の部分についてご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なかなか資料がたくさんあって慣れないと思いますが、次回10日までに資料に目を通していただければと思います。</p> <p>以上で終わります。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">了</p>